



二俣川小だより

10月号

横浜市立二俣川小学校 平成30年9月21日
発行責任者 校長 池田 千晶



学校運営協議会

池田 千晶

夏休みが終わって、子どもたちの元気な声に戻ってきました。夏休みの作品展には、多くの参観者にご来校いただき、感謝しております。保護者の方々が、子どもたちの作品や教師のコメントに話を弾ませながら参観されている姿が印象的でした。私も各学年の作品を見て回りましたが、夏休みの間の会話が聞こえてきそうなものばかりでした。子どもによっては、わざわざ作品まで案内し丁寧に解説してくれたり、日記の一コマを説明してくれたり、充実した生活の様子が伝わってきました。学校を離れて、家庭や社会の中で過ごした日々が、子どもを一回りも二回りも大きく成長させてくれたのだと改めて感じました。

先月号で、「子どもが安心して豊かに過ごせる居場所づくりをさらに進めるとともに、地域の方々も考えてきたい」といった内容を書きました。そして8月31日の学校運営協議会で、その第一弾を行いました。委員の方々と全職員で、どんな子どもを育てたいのか、思いの共有をしました。中期学校経営方針の中から4つの観点に絞り、4グループに分かれての協議でした。それぞれのグループがどのような子どもに育てほしいか、共有した思いは以下になりました。

「確かな学力」

…基礎基本の学力を身につけて、自信をもって、コミュニケーションができる子ども

「豊かな心」

…素直さ 二小が好き 地域や学校で縦の繋がりを大切にできる子ども

「健やかな体」

…自分事としてとらえて、姿勢・食生活・体力を意識できる子ども 地域・家庭と協力

「学校運営協議会・地域連携」

…地域のために、自分の時間がさける子ども 地域から認められる子ども
中学までの縦の連携

「次世代の学校・地域 創世プラン」として、地域と学校の連携のあり方が、平成28年に改めて国から示されました。これらを踏まえて、10年目を迎えた本校の学校運営協議会が、さらに時代に合ったものとなるよう、共有した子どもの育ちをもとに検討を進めてまいります。学校の学びが、社会に開かれた教育課程となるように整理してまいります。次回の運営協議会は、「学校をひらく」週間の10月20日(土)にふれあい懇話会として行います。

学びも遊びも全力で取り組める10月となるよう、全職員で教育活動に取り組んでまいります。ご理解・ご協力よろしくお願いたします。



